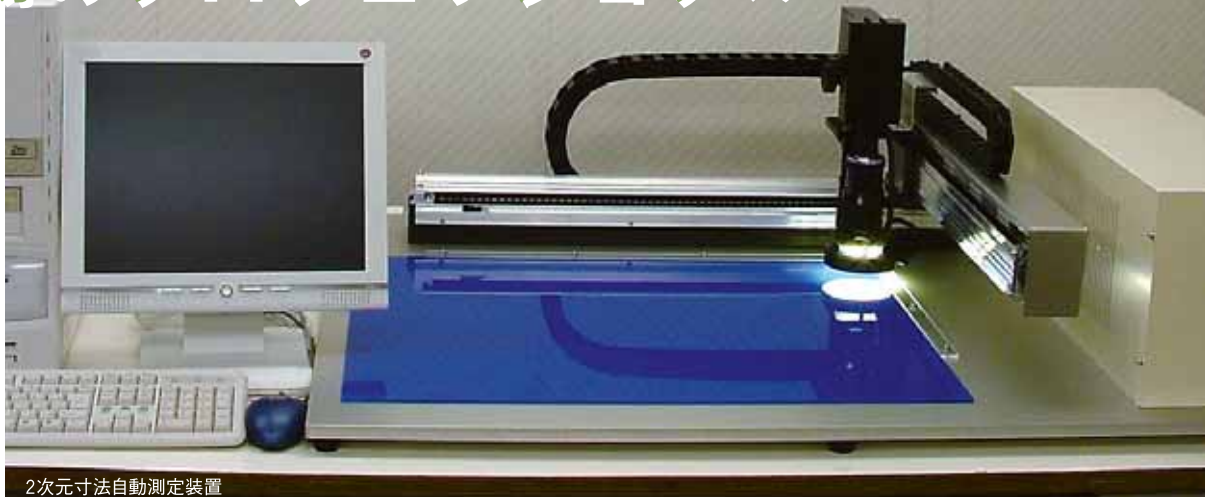


航空機からバイオまで 計測のプロフェッショナル



2次元法自動測定装置

株式会社中央電機計器製作所

誰もが計測できる装置を開発

国産ジェット機MRJのブレーキ、ステアリングの試験装置、新幹線のぞみに搭載されているモニター装置動作試験システム、脳活動測定制御装置、バイオ検査試験装置等、電子・電機計測機器分野でオリジナル製品を手がける中央電機計器製作所。

同社は、ユーザー本位を第一義に、大企業ではなしえない「ものづくり」を主軸においてきた。

液晶テレビの画面に貼りつけるフィルム of 切断面の状態等を、CCDカメラで触れずに測定し観察できるという同社主力製品の一つ、2次元法自動測定装置は、マウスをクリックするだけで簡単に操作ができる。画像倍率の変化や光学的画像歪の影響を受けずに高精度の測定ができる



優れたもので、試験成績表としてエクセルで出力でき、また、加工状態を画像として記録、保存できる。人件費削減、ライバル社との差別化を可能にする装置だ。

アナログメーターから 電子計測器を主力商品に

畑野吉雄社長の父は大阪市でアナログのメーターをつくる工場を経営していた。法学部を卒業した畑野社長は異業種の他社に勤めていたが、父が病いに倒れたのを機に家業を継ぐことを決心。当時はICの草創期にあたり、これに着目した畑野社長は、アナログメーターから電子計測機に主力商品を転換した。以後、時代に先んじるものづくりとは何かを考え続け、年を追うごとにユーザーの信頼を獲得していった。

医療機器、バイオ産業 微流も微細も計測

10 μ A という微小電流の計測が必要とされるMRIシステム自動監視装置は、自動でMRIシステムの状態を監視して、データ測定・制御等ができるものだ。

医療機器対応だけではなく、「生きている微生物」を迅速かつ簡単に計測することを可能にした、バイオ産業向けの装置もある。マイクロコロー自動計測装置がそれだ。これは約60秒でフィルター上1 cm^2 に形成された数千〜数万個のコロニーを自動計測できる。

平成16年に研究開発室を開設し

株式会社中央電機計器製作所

Company
Profile

住所 〒534-0013
大阪府大阪市都島区内代町2-7-12
創業 昭和5年4月
設立 昭和35年1月
資本金 1,000万円
従業員 45名 (平成21年1月現在)
TEL 06-6953-2366
FAX 06-6953-2414

関西
19

ISO 9001

<http://www.e-cew.co.jp/>



畑野吉雄さん
代表取締役

主な事業内容

画像検査システム、LED照明、バイオ関連検査装置、計測制御システム等の設計・開発、ソフト開発 (LabVIEW 他) 等

以降、東京をはじめ、国内外の各地で催される展示会に積極的に出展し、PR活動を強化。同社製品の知名度は確実に上がった。また、高品質・高精度の製品をつくる企業集団、ナショナルインスツルメンツ社のライアンスメンバーであることも功を奏し、海外との商談も増えてきた。現在、販路は世界9か国におよぶ。

「今後は海外からも人材を求め、世界中の人とコラボレーションできたい。計測の単位は万国共通です」。